

# わが

## 「住みたいまち・行ってみたいまち」の実現に向けて

はじめに

岩沼市は、県都仙台市の南約

17kmに位置し、東は太平洋に面し、南には阿武隈川が流れる、人口約4万3500人のまちです。

仙台市からのアクセスが大変良く、鉄道と道路が充実しており、また、東北・宮城の玄関口である



竹駒神社御社

仙台空港が所在するなど、いしえより交通の要衝として発展してまいりました。観光面においては、日本三稲荷である竹駒神社、商売繁盛や金運上昇にご利益があるといわれる金蛇水神

社があり、国内はもとより国外からも多くの参拝客や観光客が訪れるまちでもあります。

### 東日本大震災からの復興

13年前の東日本大震災で発生した津波により地域の約半分が浸水し、東部地区の6集落が壊滅的な被害を受けました。これまで、国や県、関係機関と連携しながら、被災者の生活再建や防災・減災への取り組みなど、ハードとソフトの両面から全力で復興に取り組んできました。

特に住まいについては、6集落の地域コミュニティを維持しながら集団移転するため、住民が主体となった計画作りに参画していただきました。現在は、約1000人が住む大きなまちとなり、近隣には商業施設や子育て支援施設な

ども整備され、生活環境の充実に貢献していただいております。

また、沿岸部には築山型の防災機能を有する「千年希望の丘」を14基整備しました。この「千年希望の丘」は震災の記憶や教訓を未来へ引き継ぐ、岩沼市の復興のシンボルとなっています。周辺にはボランティアの皆さまに植樹していただいた木々があり、その木々が成長することで、立派な森を形成し、いざという時は津波の威力を分散する「緑の堤防」の役割を果たします。現在は、育樹をはじめとするさまざまな活動を通して防災への取り組みに貢献しております。

### ラーメン激戦区のまち

市内各所に見られる「い



ラーメンマップ

わぬまラーメン激戦区」ののぼり旗。市内には多くのラーメン店があり、しょうゆ、みそ、塩、豚骨など、「ラーメン」の一言では片付けられないほど奥が深い、味わい深さを楽しむことができます。

そもそもラーメン激戦区の始まりは、明治維新の頃、岩沼領主の家老を務めた伊東訥庵が「産業振興には健康な国民が必要。健康には肉食を！」という信念の下、岩沼で養豚業を始めたことがきっかけでした。時代とともに肉食文化が広まり、とんかつや、岩沼とんちゃん(ホルモン)が誕生し豚骨(ガラ)をベースにしたラーメンも各食堂で提供され始めました。次々と多くのラーメン店が出店



岩沼市西子育て支援センター

し、現在では「ラーメン激戦区・岩沼」として知られるようになりました。市では、令和3年にラーメンマップを作成、昨年には内容をバージョンアップしたラーメンマップ第2弾を作成し、市外、県外からのラーメンファンの呼び込みを行っております。皆さまの大好きな一杯がここに必ずあります。ぜひ岩沼にいらしてください。

## 子育てしやすいまちづくり

全国的に人口減少が問題となっ  
ていますが、本市においても、  
年々緩やかに人口が減少してきて  
おります。人口減少は地域活力の  
低下を招き教育、保育や水道、道  
路のインフラの維持などが難しく

なる原因となります。

市では、この課題を打破するた  
め、人口の社会増に注目した取り  
組みを行っております。子育て世  
代に視点を合わせ、子育てしやす  
いまちを目指した取り組みを展開  
しております。昨年7月には市西  
部地区に子育て支援の拠点施設と  
して、「岩沼市西子育て支援セン  
ター」を開設しました。これによ  
り、県内の市で初めて全ての小学  
校区に子育て支援センターを設置  
することができました。子育て支  
援センターでは、子育てに関する  
さまざまな相談などに職員が対応



ハナトピア岩沼

しております。室内には気軽に遊  
べる部屋があり、多くの子どもや  
保護者の交流の拠点として好評を  
頂いております。

また、来年度には第2子以降を  
対象に保育料を無償化する予定と  
しており、子育て世代の経済的負  
担軽減を図っていきたくないと考え  
ております。

加えて、西部地区にあるハナト  
ピア岩沼を「子どもの笑顔あふれ  
るアグリステーション」をコンセ

## プロフィール

- ◆ 面積 60・45km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 4万3448人
- ◆ 世帯数 1万8901世帯

〔将来都市像〕住んでみたいまち・行っ  
てみたいまち

〔まちの特徴〕 鉄路・陸路が充実する  
交通の要衝であり、世界とつながる仙  
台空港のある利便性の高いまち

〔特産品〕 奈良漬、米、メロン、白菜、



岩沼市長  
佐藤淳一



〔観光〕 竹駒神社、金蛇水神社、二木  
の松（武隈の松）、貞山堀、グリーン  
ピア岩沼、ハナトピア岩沼、千年希望  
の丘、亀塚温泉、いわぬまひつじ村

〔イベント〕 竹駒神社初午大祭、金蛇  
水神社花まつり、いわぬま市民夏まつり

キュウリ、レタス、トマト、リンゴ、  
岩沼とんちゃん、ラーメン、牛タン、  
レトルトカレー

プトに、子どもと親の多種多様な  
交流拠点として、令和8年度のリ  
ニューアルオープンに向けた改修  
工事などを実施する予定としてお  
ります。

未来を担う子どもたちを育む環  
境づくりに力を入れ、効率的かつ  
魅力的なシティプロモーションを  
行うことで、多くの皆さまから  
「住んでみたい・行ってみたい」と  
思っていただけまちの実現に向  
けて取り組んでまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、  
人口・世帯数は「住民基本台帳」による。



# わが

## 企業も注目する良好なアクセス 水と緑に囲まれた田園都市

### 「下妻」ってこんなまち

下妻市は、水と肥沃な土地に恵まれ古くから農業が盛んなまちで、米をはじめスイカやメロン、ナシ、ブドウといった果樹栽培、キュウリやネギ、豚肉など豊かな農畜産物の宝庫であります。

特に、ナシについては、幸水梨



下妻市は茨城県内でも有数のナシの産地

の収穫を10日ほど遅らせ、摘果により厳選された果実を樹上で十分に熟させた「下妻甘熟梨」という独自ブランドの開発や、茨城県オリジナル品種の導入、海外輸出など先進的な「攻めの農

業戦略」を展開しています。県オリジナル品種「恵水」については、令和4年の「第1回全国梨選手権」（日本野菜ソムリエ協会主催）で最高金賞を受賞するなど、日本のナシ産地をリードする実績を上げています。

こうした評価は、本市のふるさと納税にも表れているところで、年々寄付額が伸びてきている要因の一つは、高いリピート率からもわかることです。一度味わっていただいた方には、本市が誇る農畜産物の味わいはもちろん、その品質の高さをご理解いただき、次回への寄付へつながつているものと考えています。

しかし、担い手不足など、農業に関する課題は本市でも例外ではありません。農家・農業を守り発展させるために、農業に興味のあ

る人を呼び込み、増やしていく必要があります。そこで、(株)クボタとの連携協定により農機シェアリング事業の開始や、就農フェアへの出展を通して、新規就農者発掘に努めているところです。こうした地道な活動により、令和5年には梨農家へ2人の新規就農者を迎えることができました。今後も農業を始めたい人が「下妻で農業を始めるのが安心だ」と思ってもらえるよう、取り組んでまいります。

### 「持続可能なまちづくり」

少子高齢化による人口減少問題は深刻さを増しています。本市においても人口減少に歯止めをかけるため、企業誘致を推進し雇用の確保に努めています。

市内には九つの工業団地があり、全ての工業団地が完売してい



農畜産物の宝庫「道の駅しもつま」

ます。進出企業の中には、世界的ハイブランド化粧品メーカーで知られるエステイローダーカンパニーズや食品大手のフジパンが立地し、操業を開始しております。また、現在10番目となる工業団地の整備に着手し、こちらには大手菓子メーカーのカルビー(株)の進出が決定しているところです。

私が企業誘致に当たって、特にこだわったポイントは、「製造業」であるという点です。製造業は従業員が多く、雇用の増加が期待できることや設備投資額も大きいからです。さらに優良企業の進出により、UターンやIターンによる



小貝川ふれあい公園からの筑波山とポピー畑

人口増加も見込めます。また、給与や福利厚生が充実している企業が多く、従業員が長く勤務する傾向にあることから、雇用の安定も期待できます。新たな雇用や税収増から地域経済の活力をまちづくりに生かしていきたいと考えています。

### 「選ばれるまち」とは

コロナ禍から人々の生活スタイルは一変し、暮らしに対する意識も変化したように感じます。忙しく仕事に明け暮れるばかりでな



「筑波サーキット」は東京近郊からのアクセスも良好

く、自分らしい暮らしを見たい、普段の生活を大切に、なおかつ楽しみたい、家族との時間を大切にしたいと思うようになったのではないのでしょうか。そうした市民ニーズに応えるべく、子育て環境や教育の充実にも重点を置いています。

本市では、特色ある教育を推進するため「英語教育のまちづくり」を合言葉に、英語教育に力を入れています。令和3年度には、正職員として英語ネイティブのアメリカ人を採用するほか、全ての市立小中学校にALT（外国語指導助手）を配置し、英語教育の充実に向けた仕組みを整えています。

また、英検受験料の半額補助により受験を推進したところ、本市中学3年生の3級以上取得率が格段に上昇しました。

今後ますます進展するであろうグローバル化に向け、豊かなコミュニケーション能力や異文化理解の精神を身に付けることは、将来を担う子どもたちにとって必要なことです。グローバル化に

### プロフィール

- ◆ 面積 80・88km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 4万1621人
- ◆ 世帯数 1万7294世帯



下妻市長  
菊池 博

〔将来都市像〕人と自然を活かし、住みよさを創るまち しもつま く住み続けたい、選ばれるまちを目指して  
〔まちの特徴〕筑波山の麓、まちの東側には小貝川、西側には鬼怒川が流れる水と緑に囲まれた自然豊かなまち  
〔市町村合併〕平成18年1月1日、千代川村と合併  
〔観光〕関東最古の八幡さま「大宝八



幡宮」、東京都心に最も近いJAF公認サーキット「筑波サーキット」  
〔イベント〕全国道の駅シンポジウム（令和6年11月開催）  
〔新庁舎〕新庁舎が令和5年5月に環境に配慮した建築物として開庁。茨城県内の庁舎としては初めて「Near Net Zero」認証を取得。建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）の最高ランク5つ星も獲得。免震構造を採用し、地下には雑用水槽や緊急排水層を有し、防災拠点にもなっている。

対応できる人材の育成のため、教育分野の充実に向けたさまざまな事業をこれからも展開してまいります。

あらゆる年代の方々が、健康で「自分らしい」暮らし方を選択できるまちが「選ばれるまち」にながっていくと確信して、これからも各種施策の展開に果敢にチャレンジしてまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。



## わが

誰もがキラめく鳥羽  
海の恵みがつなぐ鳥羽

鳥羽市は、伊勢湾と太平洋・熊野灘に面し、市域は四つの有人離島と半島部から構成されています。市域面積は107km<sup>2</sup>で、海岸線は山地が海岸部まで迫り、風光明媚なりアス海岸を形成しています。また、海域は古くから豊かな漁場となっており、今日まで海女漁をはじめとする多様な漁業が続けられています。全域が伊勢志摩国立公園および半島振興地域の指定を受けており、一部が離島振興地域、特定農山村地域の指定を受けています。

## 地域共生社会の先進地として

2014年には日本創成会議により、2010年から2040年までに全市町村の約半数に当たる896団体において、20〜39歳の女性人口が5割以下に減少する

「消滅可能性都市」の考え方が打ち出され、本市においても大きな反響を呼びました。こうした中で、2040年には、本市でも社会の担い手となる世代は46.8%まで減少し、現役世代と高齢者とのバランスが大きく変わります。今こそ、超高齢社会を見据えた取り組みが必要となります。現代の生活では人と人とのつながりを、ともすると煩わしいと避けがちですが、これまで長らく培われてきたつながりの豊かさを今こそ大事にしたいと思っています。そして行政がつくる仕組みだけでなく、市民同士が主体的につながり支え合うことで、たとえ人口が減少したとしても鳥羽には幸せな地域共生社会が実現することを目指しています。本市の皆さまが気軽につながる

ことのできるアプリを本年度から導入しました。「つながる」ことのきっかけとして、もつとつながる支え合うまちを実現するために、シニア世代にも活躍してもらいます。それぞれに自分の居場所があり、人と人とのつながりが深まりお互いに支え合うまちづくりです。日本の「地域共生社会」の先進地として1万人が幸せに暮らせるまちを目指しています。

## SDGsと漁業と観光

コロナ禍が明けた今、サステナブルなまちであることは旅行先として選んでいただく上で大切な条件となりつつあります。では、地域がサステナブルな取り組みをしているということ、どのような観光客に伝えればよいのか、最新の情報も含めて常に問われています。

鳥羽の観光にとっては、海の恵



答志島トロさわら

みは欠かせない資源です。伊勢エビ、アワビなどの海産物に加え、海女、真珠養殖など鳥羽の文化も重要な観光資源となっています。しかし近年は海の環境変化により漁獲量減少が続いていたり、漁業者や海女の人口が減少していきと、鳥羽の海とそこで育まれてきた文化は危機にさらされています。本市では、それらを守るための取り組みが以前から数多く行われてきました。

漁業と観光の連携促進事業（私



海女

私たちは漁観連携と呼んでいます）として、漁業が直面するさまざまな課題を踏まえ、鳥羽市観光協会、市、鳥羽磯部漁業協同組合による連携を始めて10年になります。ブランド化に成功した「答志烏トロさわら」をはじめとして鳥羽の海産物の情報発信、地産地消、海を舞台にした体験、海女や食文化の保全、漁業の活性化を戦略分野とし、多岐にわたる活動を行っています。

## 海女が危機的状况に

鳥羽の海では大昔からたくさん海女が働いてきました。その数は日本一の353人で鳥羽の漁業と文化を象徴する存在となっています。令和元年5月に日本遺産に「海女(Ama)」に出逢えるまち鳥羽・志摩〜素潜り漁に生きる女性たち」が認定されました。次は「海女漁の技術」のユネスコ無形文化遺産登録を目指しています。

海女の歴史が長く続いてきたのは、目的とする漁獲物がなくならなかつたためであり、持続性のある資源維持の方法を工夫して、乱獲しない約束事を守ってきたからです。しかし、この50年間で海女は8分の1に減少してきています。原因の一つは地球温暖化による長期的な水温の上昇や黒潮大蛇行などの影響で、志摩半島の一部の漁場では海藻がつくる藻場が減少し、それらを餌としているアワビの不漁などが起きています。

## 国内外に向けて「海のシリコンバレー」で魅力を発信

本市では全国的にも希少な施設である市立の水産研究所を所有しています。水産研究所では地場産である黒海苔とワカメの種苗生産を行っており、隣接地には三重大学の水産実験所があります。その他にも志摩半島には三重県水産研究所や国立水産技術研究所などの市、県、国の研究機関をはじめ、大学、高専、そしてよく知られた鳥羽水族館、ミキモト真珠島、海の博物館などの海に関する施設が集積しています。米国カリフォル

ニア州に集積するIT企業群になぞらえて、私は「海のシリコンバレー」と名付けました。伊勢志摩国立公園から海のシリコンバレーの魅力を国内外に発信をして、海に関するだけでなく伊勢志摩に行けば面白いことができそうだと思います。ただ、さまざまになつながらなるきつかけになるかと思えますので、海の恵みがつなく鳥羽の実現に向けて全力で取り組みを進めています。

## プロフィール

- ◆ 面積 107.34 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 1万6838人
- ◆ 世帯数 8239世帯



鳥羽市長  
中村欣一郎

〔将来都市像〕誰もキラめく鳥羽海の恵みがつなく鳥羽  
〔まちの特徴〕市全体が伊勢志摩国立公園に属しており、世界初の真珠養殖発祥の地、日本一海女が多いまち  
〔特産品〕伊勢エビ、アワビ、タイ、

サザエ、カキ、岩ガキ、タコ、ちりめんじゃこ、黒海苔、ワカメ、ヒジキ、ところてん、真珠製品  
〔観光〕鳥羽水族館、ミキモト真珠島、鳥羽湾めぐりとイルカ島、海の博物館、四つの有人離島（坂手島、菅島、神島、答志島）  
〔イベント〕弓立神事、八幡祭、御船祭、鳥羽春祭り、石神さん春祭り、赤崎まつり、しろんご祭、鳥羽みなとまつり、御魚取神事



海のシリコンバレー

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。



# わが

## こどもたちが健やかで幸せに 成長できるまちを目指して

日置市は、鹿児島県の西部、薩摩半島のほぼ中央に位置し、東は県都鹿児島市に、西は日本三大砂丘の一つ、白砂青松の「吹上浜」を有する東シナ海に面しています。

「妙円寺詣り」や流鏑馬、「せっぺとべ」に代表される歴史的な伝統行事と400年の歴史を誇る薩摩焼や優れた泉質を誇る温泉など、いにしえの情緒と安らぎに満ちた貴重な資源を多く有しています。

### 子育て世代に選ばれるまち

子育て支援の充実を図るため、令和4年度よりこども未来課を設置し、保育所などの入所申込のオンライン化や保育所などの様子を動画で紹介するオンライン保活などさまざまな取り組みを行っています。オンライン保活は、動画の再生回数が令和6年1月15日時点で

で5万8000回を超え、多くの保護者の皆さまが保育所などを選ぶ際の参考になっています。

また、令和5年8月には「日置市こどもまんなか宣言」を行い、「こどもまんなか応援サポーター」の仲間入りをしました。この宣言に基づき「こどもまんなかアクション」の一つとして、「日置市保育のおしごと支援センター」を同年9月に開設しました。このセンターは、市内各保育所などからの求人情報を提供するだけでなく、就労希望に沿う施設の紹介や面接の日程の調整など全面的な就労支援、就労相談業務を行っています。

本市では、希望する保育所などに子どもを預けられない現状や保育需要の将来予測を踏まえ、保育事業者などと利用定員を調整したことにより、令和6年度に、本市に

二つの認可保育所が新規で開設されることとなりました。これは日置市施行以来、初めてのことです。

引き続き、安心して子育てのできる環境づくりと子育て世代に選ばれるまちを目指して、子育て支援を推進してまいります。

### ひおきとプロジェクト

令和3年に開始した関係人口創出事業「ひおきとプロジェクト」は、日置市公式ファンクラブ「ひおきカメカメ団」の登録による「関係づくり」と市内5カ所に設置しているお試し住宅「カメハウス」を拠点とした「関係深化」を柱として事業を進めています。

現在は、WEB戦略に力を入れており、鮮度の高いオリジナルのウェブメデイ

ア「ひおきと」を立ち上げ、ゆるーい記事を毎日投稿しています。

令和5年6月からLINEニュースアカウントメディアアセレクトにも参画し、友だち登録7313人（令和5年12月14日現在）と新たな関係づくりにもつながっています。

また、コロナ禍で帰りたくても帰れない：故郷を見たい、感じたい：との声が遠方に住む出身者から多数あったことから、インターネット上（仮想空間）に「もうひとつの日置」を創造するプロジェクト「ネオ日置計画」を始動し、令和5年12月までに小さな日置市や名所が6カ所完成しており、令和6年2月には城下町もオープンします。



ひおきとブログ



メタバース

## オリーブの6次産業化

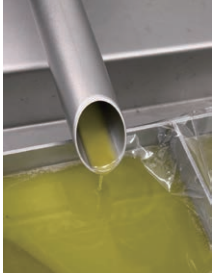
平成25年からオリーブの産地化に向けて取り組んでいます。適合する品種の選定など多くの課題を乗り越え、令和元年には念願の100%日置市産オリーブオイルの搾油に成功しました。



収穫されたオリーブの実



オリーブの実



オリーブオイルを搾油

本市のオリーブオイルは、生産者が全量手摘みで収穫し、収穫後24時間以内に搾油を行っています。近年は安定した生産が可能となりつつあることから、令和4年から複数の品評会に出品しており、国際オリーブオイルコンテストにおいては、金賞や銀賞を受賞するなど、その品質が評価されています。

また、JR九州クルーズトレイン「ななつ星」や県内有名ホテルでも使用されているほか、ドレッシングなどのオリーブを使った加工品やボタニカルコスメなどの原材料と

して使用されています。

オリーブの安定的な収量確保には、剪定などの栽培管理技術を高めていくことが必要です。そのために、定期的な技術指導を行うとともに、いつでもどこでも視聴できるように栽培管理技術の動画をインターネットにアップして、技術の高位平準化を図っています。

成木1本当たりの収穫量を増やすことに注力するとともに、本市の温暖な気候を生かして日本最速級のオリーブオイルを全国へ発信してまいります。

## 多彩に暮らす、オール日置で脱炭素！

令和3年に脱炭素の実現に向けて、「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、2050カーボンニュートラルに向けた取り組みに力を入れています。その中で、令和5年4月に環境省の第3回脱炭素先行地域に選定され、これから6年間で43億円規模の事業を実施する後押しを頂きました。

市民の皆さまからは「基礎自治体が脱炭素のような壮大なテーマに取り組みメリットは？」と聞かれることもあります。地球環境へ

の負担軽減はもちろん、エネルギーの地産地消による経済の循環も目的です。本市のような地方都市においてはエネルギーの多くを地域外からの調達に頼っており、エネルギー関連収支は流出過多の状況です。このエネルギーを地産地消すれば市内で経済が循環していき、今後の長期的な経済活動維

## プロフィール

- ◆ 面積 253.01km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 4万6642人
- ◆ 世帯数 2万2627世帯

〔将来都市像〕住んでよし、訪ねてよし、ふれあいあふれるまち

〔まちの特徴〕JR鹿児島本線が東西に走り、南九州インターチェンジや国道3号、270号があり、鹿児島市のベッドタウンとして発展している。また、東シナ海にも面しておりサーフィンなどのマリンスポーツも盛んなまち

〔市町村合併〕平成17年5月1日、東市来町、伊集院町、日吉町、吹上町の



日置市長  
永山由高

持につながることを期待されます。また、そのための努力を続けることは、価値観に共感していただけの個人や企業を惹き付ける大きな武器になるはずです。10年後、50年後、150年後も選ばれるまちであり続けるための基盤をしっかりとつくっていきたいと考えています。

### 4町が合併

〔特産品〕イチゴ、オリーブ、お茶、緑竹、果樹類、かこしま黒牛、月日貝、薩摩焼、焼酎、渚のあま塩

〔観光〕薩摩焼の里「美山」、徳重神社、城山公園、園林寺跡、大汝牟遅神社、千本楠、吹上浜、江口浜海浜公園、湯之元温泉、吹上温泉

〔イベント〕妙円寺詣り、美山Craft Week、せつべとべ、吹上秋祭り、ひおきマルシェ、湯之元馬頭観音馬踊り、伊作流鎗馬



※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。